

平成26年度

社会福祉法人 東みよし町社会福祉協議会

事業計画

【基本方針】

社会福祉協議会は、社会福祉法第24条（経営の原則）で「社会福祉法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を确实、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上及び事業経営の透明性を図らなければならない。」と規定されております。

今日、少子高齢化・過疎化・核家族化の進行による社会構造の変化、介護・医療制度改革によるサービスの低下、自然災害の危惧等で地域社会を取り巻く生活環境は大変厳しい状況であります。特に失業、孤独死、自殺、虐待、ニートといった生活課題が大きな社会問題となっております。また、人々の価値観や生活スタイルの変化で、福祉のニーズは複雑かつ多様化するとともに増大しております。

こうしたなか、本会は高齢者や障害者等の社会的弱者の方々への地域福祉事業については、各種相談事業、日常生活自立支援事業、生活福祉資金貸付事業などの「生活支援事業」、孤独死等の生活課題に向けた「地域支えあい事業」、自然災害等に対する「防災・減災活動事業」等をこれからも推進してまいります。

また、介護保険事業では、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、地域の実情に合った地域包括ケアシステム（医療・介護・予防・住まい・生活支援が確保される体制）の構築に向け、中長期的な視点に立った関係機関との連携強化、地域ケア会議の推進、組織体制の充実等に積極的に取り組んでまいります。

地域住民・ボランティア・医療・保健・福祉・行政等の関係機関と連携をより密にして情報を共有するとともに、多くの問題、課題に協働して取組み、誰もが安全で・安心し・生きがいを持って暮らせる「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」を構築するため職員一丸となり事業を展開してまいります。

【事業計画】

1. 社協の基盤強化
 - (1) 理事会・評議員会の開催
 - (2) 監事会の開催
 - (3) 役員研修への参加
 - (4) 社協の組織体制強化
 - (5) 財務経営管理の強化
 - (6) 地域福祉活動・事業への取り組み
 - (7) 関係機関、団体等との連携強化
 - (8) 社協会員の増強、自主財源の確保
2. 社会福祉大会の開催

地域福祉の現状と課題について話し合い、誰もが参加・協働できる「支え愛」の地域づくりを目指すことを誓い合うと共に、長年にわたり社会福祉の向上に功績のあった方々に敬意と感謝の意を表す。
3. 広報宣伝活動の強化
 - (1) 社協広報の発行 年2回（春夏号、秋冬号を全戸配布）
 - (2) 町広報への掲載及び情報公開 ホームページの開設
4. 各種募金事業
 - (1) 共同募金（一般募金・歳末助け合い募金）運動の展開
 - (2) 日赤社員募集運動の展開
 - (3) 共同募金配分金事業の展開
5. 地域福祉事業
 - (1) 生活福祉資金貸付事業
 - ア 民生・児童委員会と連携して要援護世帯への援助
 - イ 長期償還滞納者への償還指導
 - (2) 福祉サービス利用援助（日常生活自立支援）事業
 - ア 専門員、生活支援員、推進員の配置
 - イ 民生委員等関係機関連携して要援護者への援助
 - (3) 福祉つなぎ資金貸付事業

生活福祉資金制度の貸付決定者に対し一時的に貸付する。
 - (4) さんわ会事業
 - ア 要援護者マップ作成及び更新
 - イ 炊出し訓練
 - ウ 高齢者疑似体験
 - エ 赤十字救急法（AED 体験等）講習会
 - オ その他
 - (5) 地域福祉活動計画推進事業

小地域活動、地域福祉活動の推進及び支援
 - (6) 心配ごと相談事業
 - ア 各種相談事業と連携
 - イ 合同相談所開設

○ 三好地区

開催場所 ふれあい健康館
開催日時 毎月第2・第4木曜日
10時から12時まで
相談内容 心配ごと・人権・行政

○三加茂地区

開催場所 社協会議室
開催日時 毎月第1・第3金曜日
13時から16時まで
相談内容 心配ごと・人権・行政
身体障害者・傷痍軍人

ウ 相談員研修会の実施

(7) ボランティア事業

ア 町ボランティア連絡協議会との連携強化
イ ボランティア団体の育成及び、活動支援
ウ 防災・災害ボランティアセンターの推進
エ ボランティア入門講座、体験学習、研修会等の開催
オ ボランティア保険への加入
カ 児童ボランティアの育成

(8) 配食サービス事業

ア 食事サービスを全町内で実施
イ 年末のもち、味噌の配食サービスの実施

(9) 高齢者移送サービス事業の管理運営受託

ア 三好地域
増川地域 東山地域 畑、法市、足代山分地域
イ 三加茂地域
大藤、奥村地域 加茂山地域
西庄、三枝地域 木藤、黒長谷、毛田、毛田西山地域

(10) 福祉用具貸与事業

電動ベッド・マット・エアーマット・車椅子を短期・長期的に貸し出しする。

(11) 各種福祉団体の事務局担当及び、活動の支援

ア 町老人クラブ連合会
イ 町遺族会
ウ 町身体障害者会
エ 町傷痍軍人会・妻の会
オ 町手をつなぐ育成会
カ 町ゲートボール協会

(12) 善意銀行事業

ア 啓発活動
イ 効果的な地域社会への還元

(13) その他

ア 児童と老人会の交流活動支援
イ 幼児、児童とデイサービス利用者とのふれあい交流会開催

ウ 高齢者の交通安全教室の開催

6. 介護保険事業等

(1) 地域包括支援センター事業

予防プラン作成、総合相談、介護予防支援事業、高齢者の虐待相談や権利擁護、地域のケアマネ支援、関係機関とのネットワーク等各種事業

(2) 介護保険事業及び障害者自立支援事業等

ア 通所介護事業所（おおぐす荘・さざんか荘）

- ・介護保険通所介護事業
- ・介護予防通所介護事業
- ・障害者デイサービス（生活支援）事業
- ・生きがいデイサービス事業

イ 訪問介護事業所

- ・介護保険訪問介護事業
- ・介護予防訪問介護事業
- ・障害者居宅介護事業
- ・重度訪問介護事業
- ・生活管理指導員派遣事業

ウ 訪問入浴介護事業所

- ・介護保険訪問入浴介護事業
- ・介護予防訪問入浴介護事業

エ 居宅介護支援事業所

- ・居宅介護支援事業

7. 介護用品事業

町内在住の障害者や虚弱高齢者におむつなどの介護用品を販売。

8. シルバー人材センター事業の運営受託

60歳以上の方を対象に、短期的・臨時的な労働に従事することで、生きがいの充実・社会参加促進を図る。

9. シルバー大学校・大学院事業の運営受託

60歳以上の方を対象に、多分野の学習と講師・学生間交流を通じて、能力の再開発、地域福祉推進リーダーの養成を行う。

ア. シルバー大学校

受講日 毎週水曜日

定員 35名（総合コース20名、ICTコース15名）

イ. シルバー大学院

受講日 毎週月曜日

定員 15名（ICTコースのみ）

10. その他本会の目的達成のため必要な事業